

4-1 魅力ある農林業の振興

事業費 30億8,101万円

財源	国のお金		事業費 の実現 のため の	農業経営支援事業	9億3,083万円
	県のお金	10億4,791万円		多面的機能支払交付金事業	6億2,573万円
	市の借金	3億2,530万円		林業施設災害復旧事業	2億3,940万円
	その他	8億6,164万円		農業生産基盤整備事業	2億2,820万円
	市のお金	8億4,616万円		その他	10億5,685万円

農業の担い手が育ち、地域内で農業を営む仕組みができ、また、担い手への農地の集積と水田のフル活用により、多様性のある複合産地化が進み、生産性の向上と品質確保が図られ、農家所得が向上するとともに新規就農者も増加していることを目指します

主な事業

- ◆**中山間地域等経営継続支援事業(1,000万円)**
中山間地域等の条件不利農地の条件整備や農道・水路等の維持補修に係る経費の一部を助成します。また、条件不利農地を新たに借り受けて営農継続する農業者等の経営を支援します。
- ◆**高収益作物導入推進事業(1,900万円)**
園芸作物(野菜・花き)の生産を維持・拡大するために必要な農業用機械や施設整備等に要する経費の一部を助成します。
- ◆**果樹産地再生支援事業(540万円)**
力強い果樹産地を継続するため、樹園地の利便性や生産性の向上、災害被害を最小限に抑える対策等に要する経費の一部を助成します。
- ◆**雪害を乗り越える果樹産地復興事業(1,500万円)**
大雪による被害からの復旧・復興を図り、自然災害に強い果樹産地を継続するために必要な苗木の補・改植、農業用機械や施設整備等に要する経費の一部を助成します。
- ◆**横手の食農推進事業(480万円)**
地産地消やブランド推進など、横手の“食と農”に関する事業に加え、横手市産農産物のニーズ把握や生産現場への還元を図るため、卸売市場における市内農産物等の流通調査及びPRを実施します。
- ◆**6次産業施設整備支援事業(2,000万円)**
食品衛生法改正に伴い、漬物製造等の事業継続が困難となる事業者を支援し、地域農業及び関連産業の下支えを図るため、施設改修等に要する経費の一部を助成します。
- ◆**全国発酵食品サミット開催事業(1,341万円)**
全国発酵のまちづくりネットワーク協議会の会員都市で開催している、全国発酵食品サミット(会員団体のほか、発酵に関わる多種多様な企業や人が集まるイベント)を横手市で開催します。
※本事業は令和3年度に開催予定でしたが、令和4年度に延期となったものです。
- ◆**横手市農業持続的発展事業(493万円)**
大学と連携し、農業現場の課題解決を目指します。秋田県立大学とはスマート農業の効率的な普及に向け、講演会・講習会等により理解を深める環境づくりを、東北大学とはホップ生産地としての将来構想や、作業の省力化に向けた調査を行います。
- ◆**農業経営者等育成事業(811万円)**
新規就農を志す農業技術研修生に対し、園芸作物の栽培・作業技術や経営管理など2年間の研修を行うほか、農業経営者のための栽培技術等レベルアップを目指す研修、市民向けの野菜栽培講習会などを実施します。
- ◆**スマート農業普及支援事業(730万円)**
農作業の省力化などが期待されるスマート農業の普及を図るため、産業用ドローンやパワーアシストスーツなどスマート農業機械の導入を支援します。
- ◆**森林経営管理事業(3,586万円)**
管理されていない森林について市が所有者の委託を受け管理し、森林の管理の適正化を促進します。また、木育の推進や森林の景観維持等に関する事業を行います。(森林環境譲与税を活用する事業です。)
- ◆**令和3年発生林業施設災害復旧事業(2億3,600万円)**
横手地域の林道萱峠線で昨年度発生した地すべり災害の復旧工事を行います。



農業技術研修の様子



パワーアシストスーツを着用しての作業

4-2 活気ある商業の振興

事業費 8億 8,758万円

財 源	国のお金	550万円	施 策 実 現 の た め の 費	金融対策費	8億 910万円
	県のお金			地域商業活性化支援事業	3,172万円
	市の借金			起業・創業支援事業	2,757万円
	その他	7億 1,434万円		顧客利便施設費	475万円
	市のお金	1億 6,774万円		その他	1,444万円

地域に根ざした事業者と新規の起業・創業者がともに発展しながら、市内商業が賑わっていることを目指します

主な事業

- ◆金融対策費 (8億910万円)
市内中小企業や創業者、創業予定者を対象とした融資あっせん及び利子補給を実施します。
- ◆横手市起業家育成事業 (2,218万円)
起業の際の設備投資にかかる経費の一部を助成するとともに、起業ワンストップ相談窓口の実施や起業セミナー・ワークショップを開催することで、横手で起業する方を積極的にバックアップしていきます。
- ◆Bizサポートよこて費 (539万円)
県外企業のサテライトオフィス、起業する方のスタートアップオフィス、横手でビジネスをする方のワークスペースとして活用できる「Bizサポートよこて」を運営し、ビジネスによるにぎわいの創出を展開します。



Bizサポートよこての様子

4-3 活力ある工業の振興

事業費 2億 4,473万円

財 源	国のお金		施 策 実 現 の た め の 費	工業振興費	2億 564万円
	県のお金	436万円		中小企業活性化支援事業	2,700万円
	市の借金			新製品・新技術開発支援事業	722万円
	その他	184万円		工業団地管理費	367万円
	市のお金	2億 3,853万円		機能合体事業	120万円

起業家から学べる場を提供するなどの施策により、起業・創業が活発化され、地域経済が活性化し、市内企業の技術力・開発意欲が向上し、産業の発展とともに安心して働ける就業環境が整っていることを目指します

主な事業

- ◆企業振興・企業立地促進事業 (2億431万円)
一定の投資を実施した製造業等の企業の皆様に、新規雇用や環境整備等に伴う助成金を支給することにより、雇用の拡大と地域経済の振興を図ります。
- ◆地域ビジネス発掘調査事業 (422万円)
市の企業支援アドバイザーが、企業の皆様が抱える課題をお伺いし、その解決を支援します。
- ◆産学共同研究支援事業 (300万円)
新たな製品開発や技術開発を目的に、製造業を営む中小企業の皆様が大学等と共同研究を行う場合、その費用の一部について助成します。

4-4 観光・物産資源の発掘と発信

事業費 5億5,627万円

財源	国のお金	592万円	施策実現のための事業費	市営温泉施設特別会計繰出金	1億7,427万円
	県のお金	387万円		観光振興総務費	8,235万円
	市の借金			温泉観光施設費	5,242万円
	その他	638万円		ふれあいセンターかまくら館費	5,185万円
	市のお金	5億4,010万円		その他	1億9,538万円

国内外への戦略的な観光・物産PRと情報発信が行われ、おもてなしの心が市民一人ひとりに根ざし、観光・物産施策による経済効果で雇用が生まれ、所得も上がり市民生活が潤っていることを目指します

主な事業

◆**応援人口拡大事業(1,571万円)**

市出身者や縁のある人と繋がり続ける手段として、市外向け情報紙「よこてfun通信」を年4回発行し、応援人口(関係人口)の拡大を目指します。また、県外で横手市出身者が経営するお店を「横手応援拠出店」として登録いただき、応援人口の交流の拠点、横手の魅力発信の拠点とすることにより、市の活性化につなげます。

◆**地方創生人材支援制度活用事業(1,233万円)**

国のマッチング制度を活用して民間企業から人材を招き、地域産品の販路拡大や商品開発、6次産業化などについてアドバイスを受け、取り組みを推進します。

◆**よこて観光地域づくり推進事業(670万円)**

(一社)横手市観光推進機構が、多くの産業や住民等と一体となって「観光地域づくり」を進めるため、イベントの実施や戦略策定を行います。

◆**地域活性化起業人交流プログラム活用事業(771万円)**

旅行業の専門知識・経験を有する人材が、(一社)横手市観光推進機構と連携し、横手市ならではの旅行商品、体験商品の造成に取り組みます。

◆**民間温泉施設支援事業(1,200万円)**

温泉入浴サービスを提供する温泉施設の設備改修などを支援することにより、地域の活性化を促進します。



コンビニ内での横手産野菜の販売コーナー

4-5 企業誘致の推進、企業留置と雇用対策

事業費 2億3,534万円

財源	国のお金		施策実現のための事業費	労政・雇用対策費	9,696万円
	県のお金			工業団地整備事業	6,780万円
	市の借金			勤労者等福祉施設費	2,928万円
	その他	7,648万円		IT・ソフトウェア関連産業企業立地優遇制度助成事業	2,874万円
	市のお金	1億5,886万円		その他	1,256万円

企業立地の進展による産業集積により、多様な就業の場が確保されるとともに、将来を担う若年者の雇用の確保によって、多くの人が地元で活躍していることを目指します

主な事業

◆**労働・雇用対策総務費(2,097万円)**

市内企業の雇用促進を図るため、就職面接会を開催するとともに、内職相談員による内職相談、内職あっせんを行います。また、市内就業者の技能安定と地位向上を図るため、優れた技能を有する方を表彰します。

◆**柳田工業団地整備事業(6,780万円)**

輸送機産業のさらなる集積に加え、多様な分野の新たな企業立地を目指すため、工業団地の造成に向けた地権者への説明や造成設計を行います。



就職面接会

5-1 雪国の快適な暮らしの実現

事業費 16億 6,802万円

財 源	国のお金	1億7,635万円	施 策 実 現 の た め の 費 	道路等除雪費	10億5,531万円
	県のお金	174万円		除雪機械購入費	2億4,800万円
	市の借金	1億5,460万円		雪捨場用地取得事業	1億8,342万円
	その他	1,415万円		克雪施設(流雪溝・消雪パイプ・消融雪溝等)管理費	1億3,747万円
	市のお金	13億2,118万円		その他	4,382万円

道路等のインフラ施設においては、冬期間の歩行者や車の安全な通行が確保され、市民生活においても、市民と行政、事業所の協働により安全で快適な生活環境が実現されていることを目指します

主な事業

- ◆道路等除排雪費 (10億1,764万円)
冬期間の安全で安心な通行を確保するため、市道などの除排雪を行います。
- ◆雪捨場用地取得事業 (1億8,342万円)
赤坂総合公園第3駐車場の雪捨場に代わる用地を取得します。
- ◆雪国よこて安全安心住宅普及促進事業 (1,980万円)
安全で快適な住宅の普及を促進するため、要件を満たす住宅の改修工事に係る費用について補助金を交付します。
補助対象：住宅の雪対策、バリアフリー化、省エネ断熱化、防災減災対策

5-2 快適な移動空間の実現

事業費 14億 8,832万円

財 源	国のお金	3億8,389万円	施 策 実 現 の た め の 費 	社会資本整備総合交付金等事業(道路)	5億1,500万円
	県のお金			道路新設改良単独事業	3億1,900万円
	市の借金	5億3,640万円		道路メンテナンス補助事業(橋りょう維持)	2億7,300万円
	その他	2,271万円		道路維持管理費	2億1,013万円
	市のお金	5億4,532万円		その他	1億7,119万円

誰もが安全に通行できる道路環境が整備され、また、広域交通網とのアクセス環境が向上して市内全域が高速交通体系の利益を享受できていることを目指します

主な事業

- ◆生活基盤道路整備事業 (2億9,900万円)
市内各地域間交通と公共施設等へのアクセスを円滑にする基幹道路の整備と、日常的に利用される生活道路の改良充実を図ります。
- ◆道路施設排水対策事業 (2,000万円)
浸水のあった箇所や、市街地の雨水排水が適切に行われるよう工事等を実施します。
- ◆社会資本整備総合交付金等事業(道路) (5億1,500万円)
主要な道路の舗装を点検し、計画的に修繕を実施します。
通学路の歩行区間を整備し、児童・生徒の安全を図ります。
また、防雪柵の設置等を行い、安全で快適な通行の確保に努めます。
- ◆道路メンテナンス補助事業(橋りょう維持) (2億7,300万円)
橋りょうの定期点検と、長寿命化計画に基づいた橋りょうの補修を行います。



新関中央線(増田地区)

5-3 市民が利用しやすい公共交通の充実 事業費 1億4,743万円

財源	国のお金		事業費	地域公共交通費	1億4,716万円
	県のお金	1,592万円		鉄道整備・地域開発促進事業	27万円
	市の借金				
	その他	86万円			
	市のお金	1億3,065万円			

市民が日常生活を営む上で支障なく移動手段が確保されていることを目指します

主な事業

◆生活バス路線運行費補助事業（7,985万円）

通院、通学、通勤又は買い物等の市民生活に欠かすことのできないバス路線の運行を確保するため、生活バス路線運行維持に要する経費の一部をバス事業者へ補助します。

◆代替運行事業（2,068万円）

廃止されたバス路線について、バス事業者に代わり、代替交通を運行します。タクシー事業者による運行や自家用有償旅客運送の取り組みなど、さまざまな手段で生活の足の確保を図ります。

5-4 地域拠点整備による市街地の活性化 事業費 19億8,845万円

財源	国のお金	8億7,746万円	事業費	まちなか再生推進事業	12億5,480万円
	県のお金	2億3,413万円		都市再生整備事業	6億6,266万円
	市の借金	7億5,610万円		土地区画整理事業特別会計繰出金	3,415万円
	その他	375万円		都市計画総務管理費	1,081万円
	市のお金	1億2,001万円		その他	2,603万円

市街地整備事業などによる拠点整備により、良好な生活空間が確保されるほか、適正な土地利用の規制誘導による地域の資源をいかしたまちづくりが進められ、賑わいや地域の活力が創出されていることを目指します

主な事業

◆副拠点エリア整備事業(十文字地域)（900万円）

副拠点エリアにおいて、多世代が集まる憩いの場を中心とした賑わい拠点の整備を目指し、調査に着手します。

◆市街地再開発対策費(横手駅東口第二地区)（12億5,480万円）

横手駅東口第二地区市街地再開発組合が行う市街地再開発事業の解体工事や建築工事などに対し、事業支援(補助金交付)を行います。

◆都市再生整備事業（6億6,266万円）

横手駅東口における再開発事業を補完して地区周辺の公共施設を整備します。歩道を改良し融雪設備を設置するほか、無電柱化のための電線共同溝整備や立体駐車場の建設などを行います。



横手駅東口第二地区の除却・建築状況

横手駅東口第二地区第一種市街地再開発事業（組合施行）

市街地再開発事業は、既成市街地において都市環境が悪化している一定の区域を計画的に「再生」又は「更新」する事業です。民間事業者等が実施する事業に対し、市は国・県と連携して事業支援（補助金交付等）を行っています。

JR横手駅東口正面に位置する横手駅東口第二地区では、令和2年6月に土地・建物所有者が再開発組合を設立し、再開発ビルの設計や権利変換計画（事業前の土地・建物の権利を再開発ビルの床に置き換える、または転出するなどを取りまとめたもの）を作成しました。計画の県知事認可後、組合は転出者への補償等を行い、令和3年春から既存建物の解体や建設工事を始めています。工事は順調に進んでおり、令和4年2月にB-1棟の一部として横手駅前郵便局が新局舎に、3月にC棟の一部として飲食店舗がオープンしており、令和7年3月には全ての建物が完成する予定です。

市は、事業に土地所有者として参画していますが、組合が建設するA棟（下記イメージ図参照）を取得し、『人と人が「つどい、つながる」交流拠点』をコンセプトとする、図書館を含む公益施設を開設する予定です。

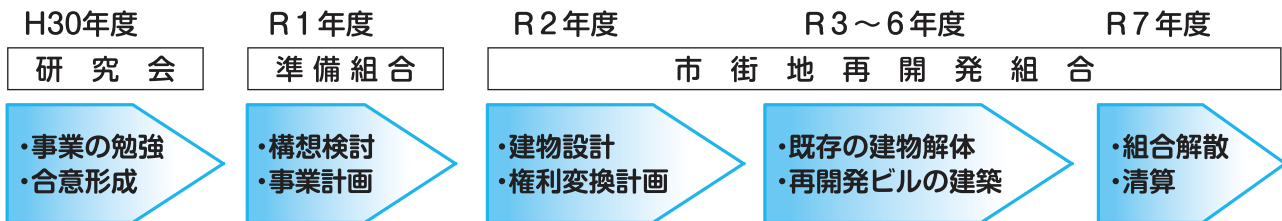


旧ユニオンビル解体（4年2月）

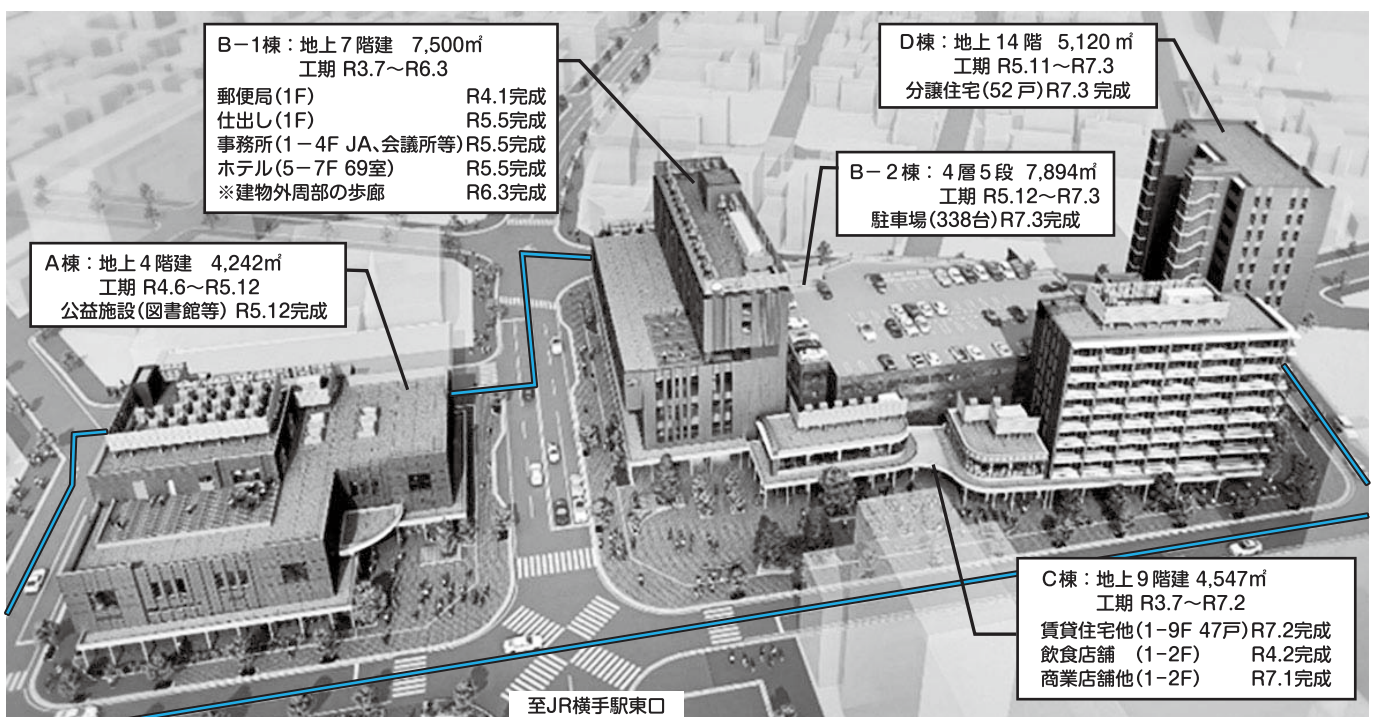


横手駅前郵便局 新局舎竣工（4年2月）

■ おおまかな事業スケジュール



■ 建物整備イメージ図



※予算はP.23下段

5-5 安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理 事業費 16億6,669万円

財源	国のお金	2,742万円	事業費 の実現 のため の	下水道事業費	12億8,704万円
	県のお金	2,742万円		上水道事業費	2億1,949万円
	市の借金	9,580万円		浄化槽設置整備事業	1億 774万円
	その他			都市下水路管理費	3,802万円
	市のお金	15億1,605万円		その他	1,440万円

安全で良質な水道水を必要な量、いつでも、どこでも、誰でも使え、そして、生活排水等が適切に処理されて、衛生的で快適な生活環境と、良好な水環境が維持されていることを目指します

主な事業

◆浄化槽設置整備事業（1億774万円）

合併浄化槽整備地区にお住まいの皆様が設置する浄化槽の工事費用を一部助成します。

◆都市下水路管理費（3,600万円）

雨水排水が適切に行われるよう対策を進めます。



増田 雨水第1号幹線



横手 横手川第9幹線



5-6 市民がくつろげる公共空間の整備 事業費 2億 710万円

財源	国のお金	2,200万円	事業費 の実現 のため の	公園管理費	1億5,533万円
	県のお金			社会資本総合整備事業	4,800万円
	市の借金	1,000万円		児童遊園地維持管理事業	339万円
	その他	443万円		公共施設サポーター制度事業	38万円
	市のお金	1億7,067万円		その他	

公園や緑地が憩いの場や遊び場として多くの市民に利用され、市民との協働により管理されていることを目指します

主な事業

◆児童遊園地維持管理事業（339万円）

遊具の定期点検や破損遊具の修繕及び危険遊具の撤去を行います。

◆都市公園長寿命化対策事業（4,500万円）

都市公園の施設改修を計画的に実施するため、公園施設長寿命化計画の更新を行います。令和4年度は、宝竜公園の遊具と浅舞公園のあずま屋の改修を行い、魅力向上を図ります。

6-1 市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実 事業費3億9,696万円

財源	国のお金		施策実現のための事業費	地区交流センター費	9,244万円
	県のお金			横手総合交流促進施設費	6,960万円
	市の借金			横手市交流センター費	5,852万円
	その他	1,182万円		地区会議運営支援事業	3,554万円
	市のお金	3億8,514万円		その他	1億4,086万円

市民が、主体的にまちづくりの主人公となって、さまざまな課題に対し、みんなで語り合い、助け合い、支え合うことによって、市民主体による特色あるまちづくりが進められていることを目指します

主な事業

◆地域おこし協力隊活用事業(秘書広報課分) (850万円)

地域おこし協力隊として地域の魅力などの情報発信、観光資源の掘り起こしや磨き上げなど外からの目線で地域協力活動を行いながら、横手市への定住・定着を図ります。

◆地域づくり市民活動補助事業 (3,000万円)

住民主体による地域の特性をいかしたまちづくりを推進するため、地域住民による自主的・主体的な地域づくり活動や地域課題の解決を図る活動を支援します。

◆町内会館等建設補助事業 (950万円)

住民自治の円滑な推進を図るため、住民自治活動の拠点となる集会所施設の整備に要する経費を支援します。

◆地区交流センター費 (9,244万円)

市民のみなさんの自主的な地域活動と生涯学習を応援し、市民協働の総合的な地域づくり活動を展開していくため、地区交流センター事業を行います。令和4年度に行うのは、金沢地区、境町地区、増田地区、亀田地区、西成瀬地区、狙半内地区、吉田地区、醍醐地区、沼館地区、里見地区、福地地区、大沢地区、館合地区、大森地区、八沢木地区、ほろわ地区、川西地区、十文字西地区、山内地区、大雄地区の20地区です。

◆地域おこし協力隊活用事業(観光おもてなし課分) (404万円)

地域に密着し、外からの目線で斬新かつ柔軟に、観光資源の掘り起こしや磨き上げを行い、当市の魅力を発信します。



里山散策ツアーの商品化に向けた取り組み

6-2 男女が尊重し合う社会づくり

事業費 166万円

財源	国のお金		施策実現のための事業費	ワークライフバランス推進事業	120万円
	県のお金			男女共同参画社会推進事業	46万円
	市の借金				
	その他				
	市のお金	166万円			

男女が互いを尊重しあいながら、家庭や職場、地域などの中で、一人ひとりが輝き、自分らしく生きられる社会が形成されていることを目指します

主な事業

◆男女共同参画社会推進事業 (46万円)

男女共同参画行動計画を推進するほか、意識啓発のためのイベントや研修会、女性が活躍できる社会を構築するためのセミナー等を開催します。

◆ワークライフバランス推進事業 (120万円)

企業や団体の経営者・管理職と従業員それぞれに向けて働き方改革やワークライフバランスなどに関する講演会・研修会を実施します。